



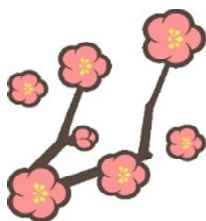
# 阿知須小だより



よさが輝く学校～自分で考え行動する児童の育成～

地域とともにある学校～コミュニティ・スクール9年目～

令和3年3月1日 No.13



## 弥生3月 卒業、修了のとき



いよいよ1年間のまとめの月である3月を迎えました。

現在、それぞれの学年では、学習のまとめや6年生の卒業に向けた取組などを進めています。

3月19日(金)には、98人の6年生に卒業証書を手渡します。最高学年の6年生は、運動会などの大きな行事ができなかったのは残念ですが、学校生活のあらゆる面でリーダーとなって落ち着いた阿知須小学校の雰囲気をつくってくれました。心も身体も一段とたくましくなり、卒業間近だなということを感じさせます。

また、1年生は、学校生活にすっかり慣れ、自信にあふれる言動が見られるようになりました。2年生から5年生も、それぞれの学年に応じてがんばっている場面をいくつも見ることで、子どもたちの成長を実感しています。

お子様の成長の度合いには、個人差があります。また、その内容も、その子その子によって違います。漢字をしっかり覚えた子、計算が確実にできるようになった子、楽器の演奏が上手になった子、運動がよくなるようになった子など、いろいろです。しかし、一人ひとりが確実に成長しており、その成長を認めてあげることが大切です。

小さな成長を見逃さず、しっかり認め、励ましてあげたいものです。それが自信になり、次への意欲につながります。我々大人は、一人ひとりの子どもに、この自信と意欲を生み出すきっかけを与えていきたいものです。

### はきものをそろえる

3年生の教室に朝の挨拶に行くとき、トイレの前でスリッパを丁寧にそろえている児童の姿を何度も見かけました。その姿を見て、職員用トイレに貼ってある詩が思い浮かびました。

**はきものをそろえると心もそろう 心がそろうとはきものもそろう**

**ぬぐときにそろえておくと はくときに心がみだれない**

**だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう**

**そうすればきっと 世界中の人の心もそろうでしょう**



これは、長野県にある円福寺の住職である藤本幸邦さんが作られた詩です。藤本さんは、終戦直後から多くの子どもを預かり、家族のように育ててこられました。玄関の靴が乱れているのを見てこの詩を作り、子どもたちを諭したそうです。3年生に限らず、本校のトイレのスリッパはしっかりそろっています。ちょっとしたことではありますが、それができるのはすばらしいことです。

### 二分の一成人式 感謝の気持ちと決意を胸に



今年度10歳になる4年生が「二分の一成人式」で、これまでの自分を振り返り、成長を支えてくださった方々へ感謝の気持ちを伝えました。保護者の方を前にして緊張しながらも力強く自分の夢を発表した姿に、一人ひとりの成長を感じました。春からは高学年になる子どもたちです。自分のことだけでなく、下級生や周りのことにも気を配り、自分で考えて行動できる阿知須小学校のリーダーとなってくれることを期待しています。

## 本校の取組について、学校運営協議会委員に御意見をいただきました。

11月に御協力をいただいた「学校評価」の結果概要をお知らせしたところですが、学校運営協議会委員に資料をお示しし、本校の取組について御意見をいただきました。委員の皆様方には、5つの項目について、4段階での評価（「4」が高評価）もしていただきましたので、その結果も併せてお知らせします。（評価は、委員の方々の評価を平均したものを掲載しています。）

項目	委員の意見	評価
確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時休業があり、授業時間が限られた中、「勉強は分かりやすい」と回答した児童が増えたことはすばらしい。視覚的な教材を取り入れるなど、教職員が工夫して取り組んでいる。</li> <li>・家庭学習について、児童と保護者の意識の差がある。保護者から見ると、しなくてはいけない勉強については行っているが、自主学習ができるとよい。</li> <li>・「本を読むのが好き」と回答した児童が多いのはとてもよい。中学校と連携し、読書習慣の定着を図ってほしい。</li> </ul>	3. 9
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校が楽しい」「友達と仲良くしている」「自分にはよいところがある」と回答した児童が多いことから、児童が充実した学校生活を送っていることが分かる。</li> <li>・挨拶については、小中連携して取り組んでいく必要がある。</li> <li>・いじめの指導に対する保護者の評価が低いことから、保護者アンケートを実施するとよい。コロナ禍だからこそ、保護者に学校の様子をしっかりと伝える必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症予防のため、学校行事を見直されたと思う。これを機に、これまでであった行事について、その行事を通して児童が何を学ぶのかという視点で改善していくとよい。</li> </ul>	3. 3
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間に児童が運動場で楽しそうに走り回っている様子を見るとうれしくなる。運動することの楽しさを味わえるよう取組を一層進めてほしい。</li> <li>・臨時休業の影響か、視力低下やメディアに依存する児童が増えているのが気になる。学校と家庭が連携して取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	3. 7
つながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民として、学校だより等で頻繁に情報をいただいているのはありがたい。今後も地域や保護者への情報発信をしっかりと行い、感染状況をしっかりと見ながら地域の方や保護者が来校する機会をつくってほしい。</li> <li>・コロナ禍で、多くの学校が年間指導計画を再編せざるを得ない状況であると聞いている。このピンチを学校教育を大きく変えるチャンスとしてほしい。</li> <li>・コロナ禍で、家庭での生活等が変化することが考えられるので、より一層、幼保も含めた小中連携を強化していく必要がある。</li> </ul>	3. 1
業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が児童のことを真剣に考えて教育を行っていると感じる。教職員の連携がしっかりと図られている。過度な無理はせず、心身ともに健康で児童と接してほしい。</li> <li>・全教職員が気持ちを一つにして同じ方向に進んでいると感じる。そのことが、児童の「学校が楽しい」につながっている。</li> <li>・コロナ禍を機に、本当に必要なものは何かをしっかりと見極め、業務のスリム化を図ってほしい。</li> <li>・勤務時間を明確に示す、放課後電話対応の時間を決めるなどの取組を進めるとよい。</li> </ul>	3. 6

### 3月の主な行事

4日（木）「わ」の日	25日（木）給食終了
6年生を送る会	26日（金）修了式
5日（金）集金日	30日（火）教職員とのお別れ式
10日（水）地区別児童会	※ 8時50分までに集団登校
19日（金）卒業証書授与式	

